

令和4年第1回定例会

一般質問通告書

久喜宮代衛生組合議会

組合に対する質問【令和4年3月1日（火）】

| | |
|--------|----------|
| 一般質問通告 | 第1号 |
| 質問者 | 斉藤 広子 議員 |

【質問事項】

1 コロナ禍の中の久喜宮代衛生組合の在り方について

久喜宮代衛生組合久喜宮代清掃センターでは、視察や社会科見学「夏休み親子で自由研究 3Rでゴミを減らそう講座」でゴミの現状と減量化にあたり親子で学べる小学生向けの夏休み講座や久喜宮代清掃センターにある施設の見学、リデュース（ゴミを出さない）・リユース（何回も使う）・リサイクル（原料として使う）という「3R」についての勉強会など活発に行われてきたがコロナ禍の中、どの様に進めて行くのか、又環境整備について伺う。

- (1) 長引くコロナ禍の中、今まで進めてきた、生活で大事なゴミの処理について、小学生の時から学んだり、視察する事は、大きな影響力がある事は、間違いないと思うが、今後どの様に対応して行くのか伺う。
- (2) 皆さんに衛生組合の仕事やSDGsの観点からの取り組みを正しくご理解頂く為にもユーチューブやタブレット活用など、新しい取り組みを考えて行くべきと思うが如何か。
- (3) コロナ禍の中、久喜宮代衛生組合の事務所、各処理施設に空気清浄機などの感染予防対策をしっかりと行い、エッセンシャルな仕事を担う安全対策整備を整えて行くべきと思うが如何か。

| | |
|--------|----------|
| 一般質問通告 | 第2号 |
| 質 問 者 | 猪股 和雄 議員 |

【質問事項】

1 PETボトルを飲料メーカーとの直接契約で「ボトルtoボトル」の水平リサイクルを検討してはいかがか。

(1) PETボトルのリサイクルの新しい流れとして、「ボトルtoボトル」の水平リサイクルが加速していると言われる。

PETボトルをフレークやペレットにして別のプラ製品に再生するよりも、新たな石油原料を加えずに純粋にPETボトルとして再生するものであり、資源循環の趣旨を活かすものと考えられる。

自治体が飲料メーカーと直接に契約（協定）を締結して、容リ協を介さずに引き渡す自治体が増えていると言われるが、久喜宮代衛生組合として、検討をするべきと考えるが、いかがか。

(2) R2年度の711tのすべてが再商品化されていると理解してよいか。

2 プラスチック容器包装の収集量と再商品化事業者落札の状況をどう見たらよいか。

(1) 令和3年度の再商品化事業者落札結果（プラ容器包装）は、コークス炉化学原料化が2481t（単価53438円／t）、材料リサイクル600t（単価60998円／t）であった。

コークス炉原料の単価がやや低くなっているが、この違いはどこにあると考えられるか。久喜宮代衛生組合の分別の品質の違いが影響しているのか。

材料リサイクルの割合を増やす方法はないか。

(2) 再商品化の約3000tは、菖蒲・八甫センターのプラ容器包装（R2年度実績約1000t）はほぼ再商品化ルートで、久喜宮代センター（約3000t）の内の2000tが再商品化ルート、1000tが焼却と理解してよいか。

3 久喜市および宮代町のそれぞれのごみ処理基本計画のごみ排出量の予測に対して、2021年度の実績（予測）量の推移はどうなっているか。評価を伺う。

| | |
|--------|----------|
| 一般質問通告 | 第3号 |
| 質 問 者 | 渡辺 昌代 議員 |

【質問事項】

1 粗大ごみのリユースの促進を

コロナ禍によりどこの自治体も家庭から排出されるごみの量が増加している。中でも粗大ごみ収集は増加していると考えられる。中には新品もしくはそれに近い状態で排出される物もあるのではないのでしょうか。自分がいらないう物でも、他の人にとっては欲しいものかもしれない事や、使える物をごみにしないという考えから、世田谷区では粗大ごみのリユースを促進するための実証実験をしている。

世田谷区では「世田谷区不用品持ち込みスポット」を設置し、本来であれば粗大ごみとして破棄されてしまうものの持ち込みを受け付け、株式会社ジモティーとの連携で成果を上げている。実際には使用に支障がなく譲ったとしても次の方が気持ちよく使える物についてわずかな有償、または無償で譲渡しています。

久喜宮代衛生組合も取り組みを始めてはいかがですか。伺う。

2 コロナウイルス感染症対策費の捻出を

今、全国の自治体では、コロナウイルス感染症関連の対策が国による「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」により、様々に対応され進んできている。しかし、前議会で明らかになったように、衛生組合はその対象にならないという事で、「地方創生臨時交付金」が交付されず、対策が遅れている。交付金からは、マスクもアルコール消毒液も空気清浄機も配置されていないという。早急な対応が必要ではないか。

各自治体で組合組織を作り、久喜・宮代市民町民のゴミ全般を担っているから、各自治体に国から交付された「地方創生臨時交付金」を衛生組合にも対応させるべきと考える。「コロナ対策経費」として各自治体の「久喜宮代衛生組合負担金」に上乗せを要求し、早急にコロナ対策を進めるべきと考えるがいかがか。

| | |
|--------|----------|
| 一般質問通告 | 第4号 |
| 質 問 者 | 園部 茂雄 議員 |

【質問事項】

1 QRコードの推進と利便性の向上について

久喜宮代衛生組合でのQRコード決済が可能となり、コロナ禍において感染対策の一助となっていると思います。

そこでQRコード決済の推進と更なる利用者の利便性の向上から以下伺う。

- (1) QRコード決済の利用状況を伺う。(件数・割合等)
- (2) 搬入手数料の決済で計量後に、その場でQRコード決済を可能にすることができないか伺う。